

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-236646(P2008-236646A)

【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2008-039

【出願番号】特願2007-76837(P2007-76837)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 E

H 0 4 N 5/232 B

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月2日(2010.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作端末による操作を受け付ける撮影装置の制御権の管理方法であって、

保持手段が、被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持工程と、

付与手段が、撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与工程と、

を有することを特徴とする管理方法。

【請求項 2】

前記付与工程では、過去の所定時間内の撮影画像に第 1 の時間含まれていた被写体と関連付けられた操作端末に制御権を第 2 の時間付与し、前記過去の所定時間内の撮影画像に前記第 1 の時間よりも短い第 2 の時間含まれていた被写体と関連付けられた操作端末に制御権を前記第 2 の時間よりも長い第 4 の時間付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 3】

前記付与工程では、撮影画像に含まれる第 1 の被写体と第 2 の被写体のうち、前記撮影装置からの距離が第 2 の被写体より遠い第 1 の被写体と関連付けられた第 1 の操作端末に制御権を付与する前に、第 2 の被写体と関連付けられた第 2 の操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 4】

判定手段が、前記制御権を要求した操作端末に関連付けられた被写体を撮影可能であるか否かを、前記撮影装置の撮影範囲よりも広い広角撮影装置による広角撮影画像に基づい

て判定する判定工程を有し、

前記付与工程では、前記撮影装置が撮影可能でないと前記判定工程により判定された第 1 の被写体に関連付けられた第 1 の操作端末に制御権を付与する前に、前記撮影装置が撮影可能であると前記判定工程により判定された第 2 の被写体に関連付けられた第 2 の操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 5】

取得手段が、前記撮影装置の撮影範囲よりも広い広角撮影装置の広角撮影画像における被写体の面積を取得する取得工程を有し、

前記付与工程では、前記撮影装置が撮影可能で前記広角撮影画像における面積が第 1 の面積である第 1 の被写体に関連付けられた第 1 の操作端末に制御権を付与する前に、前記撮影装置が撮影可能で前記広角撮影画像における面積が前記第 1 の面積よりも大きい第 2 の面積である第 2 の被写体に関連付けられた第 2 の操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 6】

取得手段が、前記撮影装置の撮影範囲よりも広い広角撮影装置による被写体ごとの撮影時間を取得する取得工程を有し、

前記付与工程では、過去の所定時間内に前記広角撮影装置により第 1 の時間撮影された被写体と関連付けられた操作端末に制御権を付与する前に、前記過去の所定時間内に前記広角撮影装置により前記第 1 の時間よりも短い第 2 の時間撮影された被写体と関連付けられた操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 7】

判定手段が、前記撮影装置の撮影範囲よりも広い広角撮影装置による広角撮影画像に基づいて、所定時間後に被写体が前記撮影装置の撮影範囲に入るか否かを判定する判定工程を有し、

前記付与工程では、前記所定時間後に前記撮影装置の撮影範囲に入らないと前記判定工程により判定された第 1 の被写体に関連付けられた第 1 の操作端末に制御権を付与する前に、前記所定時間後に前記撮影装置の撮影範囲に入ると前記判定手段により判定された第 2 の被写体に関連付けられた第 2 の操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の管理方法。

【請求項 8】

撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作端末による操作を受け付ける撮影装置であって、

被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手段と、

撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手段と、

を有することを特徴とする撮影装置。

【請求項 9】

前記付与手段は、過去の所定時間内の撮影画像に第 1 の時間含まれていた被写体と関連付けられた操作端末に制御権を第 2 の時間付与し、前記過去の所定時間内の撮影画像に前記第 1 の時間より短い第 3 の時間含まれていた被写体と関連付けられた操作端末に制御権を前記第 2 の時間より長い第 4 の時間付与することを特徴とする請求項 8 に記載の撮影装置。

【請求項 10】

前記付与手段は、撮影画像に含まれる第 1 の被写体と第 2 の被写体のうち、前記撮影装置からの距離が第 2 の被写体より遠い第 1 被写体と関連付けられた第 1 の操作端末に制御権を付与する前に、第 2 の被写体と関連付けられた第 2 の操作端末に制御権を付与することを特徴とする請求項 8 に記載の撮影装置。

【請求項 11】

撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作

端末による操作を受け付けるコンピュータに、

被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手順と

、

撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手順と、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 1 2】

撮影装置と、前記撮影装置からネットワークを介して受信した撮影画像を表示すると共に制御権の取得に応じて前記撮影装置を操作可能な操作端末とを有するネットワーク撮影システムであって、

被写体と操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手段と、

撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手段と、

を有することを特徴とするネットワーク撮影システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮影装置の制御権の管理方法、撮影装置、プログラムおよびネットワーク撮影システム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明の撮影装置の制御権の管理方法は、撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作端末による操作を受け付ける撮影装置の制御権の管理方法であって、保持手段が、被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持工程と、付与手段が、撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与工程と、を有することを特徴とする。

また、本発明の撮影装置は、撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作端末による操作を受け付ける撮影装置であって、被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手段と、撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手段と、を有することを特徴とする。

また、本発明のプログラムは、撮影画像をネットワークを介して操作端末に送信すると共に、制御権が付与された操作端末による操作を受け付けるコンピュータに、被写体と当該被写体を特定した操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手順と、撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手順と、を実行させることを特徴とする。

また、本発明のネットワーク撮影システムは、撮影装置と、前記撮影装置からネットワークを介して受信した撮影画像を表示すると共に制御権の取得に応じて前記撮影装置を操作可能な操作端末とを有するネットワーク撮影システムであって、被写体と操作端末の識別情報との関連情報を保持する保持手段と、撮影画像に含まれる被写体と前記関連情報により関連付けられた操作端末に制御権を付与する付与手段と、を有することを特徴とする。

。